

Global Strategy Com Meeting #17

Date: 2018 March 5, Monday 15:30-17:30

Room: Japan Gescience Union Office Conference Room at the basement
2-4-16 Yayoi, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0032, Japan

Attendee:

Global Strategy Committee (GSC) members: Yukihiro Takahashi (Chair / Working Group for Collaborations with Asian and Pacific Academic Societies Chair), Gaku Kimura, Toshitaka Gamo, Shigeko Haruyama, Toshiyuki Hibiya, Kazuyoshi Endo, Masataka Kinoshita, Yasuhiro Murayama, Eiji Ohtani, Kiyoshi Suyehiro (International Program Coordinator), Kanako Seki, Takashi Nakagawa, Teppei Yasunari, Yoshiki Saito

Vice President: Masato Nakamura

WG members: Jun Matsumoto, Hisayuki Kubota (ZOOM)

JpGU Office: Yozo Hamano (Secretary General), Kayoko Shirai, Sachiko Ide

Regrets:

Global Strategy Committee (GSC) members: Simon Wallis (Vice Chair), Hiroe Miyake, Masaki Fujimoto, Hiroshi Nishi, Hisashi Nakamura, Fumiko Tajima, Shogo Tachibana

President: Hodaka Kawahata

Past President: Toshitaka Tsuda

Vice Presidents: Eiichi Tajika, Takashi Furumura

Working Group for Collaborations with Asian and Pacific Academic Societies:
Takuya Tsugawa

Distribution:

1: Agenda book (pp. 31)

Meeting Summary: ACTION ITEMS (jointly by GSC and Office)

- 1: Prepare for the upcoming 4 Unions meeting during EGU
- 2: Plan for the April 17 meeting at AGU Headquarters; JpGU2018-20, Centennial
- 3: Gather and update information on Korean Geoscience Union
- 4: MOUs with AGU and AOGS to be renewed.
- 5: Further explore collaboration enhancements with Asian-Pacific partners

高橋委員長により 15:30 開会した。

議題 1. 2018 年度以降の AGU/AOGS/EGU とのジョイントの推進の仕方について

- 今のやり方でいい。他にやり方があるのであれば、知らせてほしい。
- Mirror session (同じ議論を違う場で) からジョイントに進める。
- 論文発表と違う位置付けになって来ている。
- AGU 側の意図を探る必要がある。

議題 2. AOGS との MOU の update について

- 1.Expansion of membership of both organizations through joint programs
- 2.Exchange of information and possible co-organization of scientific conferences

- の部分は JpGU と AOGS の関係に合わないのではないかとの意見もあった。
- EGU で AOGS 側とコンタクトを取る予定。そこで、合意するのが目標。
- 現行でそのまま更新する方針。
- EGU において、4 union 会議と同日に個別接触する。
- JpGU の名前も知られていないので、国際メディアに、JpGU の宣伝を行いたい。
- AI: 村山委員 末広委員 / 対応する国際メディアを調査する。
- AI: 浜野事務局長 / 有料なので、その予算はグローバル戦略委員会ではなく広報普及委員会にお願いする。

議題 3. AGU Fall Meeting での「All Japan 合同アイランド」での出展について 提案について検討する。

- 2019 年の Fall Meeting で All Japan 合同アイランドで出展したい。
- 予算関連の問題があるので、構成機関に、声がけを始めないといけない。
- 予算は重要な問題点であり、無視できない。さらに他にも JpGU にとっても、他の構成機関にとってもメリットと同時にデメリットもあると思うので、構成機関との交渉を早急に始める必要があるため、構成機関との交渉を始めることについて、理事会に諮ることとする。

議題 4. AGU Fall Meeting 2019 Centennial での JpGU としてのアクション

- AGU の International Committee である Wallis 委員とのコミュニケーションが必要。
- AGU の International Committee にアイディアを求めており、返事まち。
- AGU を盛り立ててあげられそうなものがあればよい。
- なぜ、応援するのかというロジックが必要。
- AI: 末広委員/委員会の意見を、末広委員が取りまとめて、Wallis 委員へお願いする（AGU の international committee なので）。意見があれば早めに末広委員にメールベースで報告する。
- 「地球科学発展に寄与した人物や組織を対象とした新しい JpGU 賞」の設立もよいのではないかとの意見もあった。

議題 5. JpGU-AGU Joint Meeting 2020 の準備

- 2019 年を終わってからでは遅いので理念的なところから話を始める必要がある。
- 国際プレゼンスをより高めて、国際的に確固としたものにすることを理念にする。
- 今年、来年と含めて 3 カ年で捉える。
- 2020 年大会はオリンピックの 2 ヶ月前にあたる。
- 整理をして、次回のグローバル戦略委員会の議題にしたい。
- AGU Fall Meeting との設計の違いは、英語 100% ではないことである。
- 2020 年の方針として言語の設定を考える必要がある→宇宙惑星では、全部 EE でお試しを考えている。セクションで議論をお願いする。成功事例を見せることが大切である。
- 異分野交流の促進、日帰り参加者がでない方策を考える必要がある。
- AGU からの注文にどのように答えるのかを考える必要がある。
- AI: 末広委員 / EGU での 4 union meeting で議題にする。

議題 6. アジア戦略地域における国際連携の今後とアクション

- 金銭的な問題で、研究者を招聘できないという状況である。
- IoT を駆使した発表形態にしたい。簡単に来られない人のケアの為、その場にいらなくても参加できるようにするよう、検討を行いたい。
- 時差の調整、双方向性の担保の問題の検討が必要。
- 設備や技術をどのように調達するのかという問題もある（レンタルは 1 台一日 6.5 万円）
- 安価な媒体を使うを使う場合、質の担保をどうするのか考える必要がある。
- ポスター代理印刷をして、QR コードで発表者とコンタクトすることができるという方法もある。
- トピックを決めて、現地に赴くという方法も考えられる。
- 津田前会長よりアジア展開では、京大の余田先生にベトナム、タイ、インドネシア、シンガポール関係で御見をいただいた。
- またオーストラリアには津田先生がアデレード大学にチャンネルをお持ちなので、対応をお願いすることにする。

議題 7. 韓国地球惑星科学連合と JpGU の今後

- 川幡会長が前回韓国を訪問の際、来年 5 月発足予定との情報を得た。
- JpGU Meeting 2017 大会で刺激を受けたことがきっかけで設立することになった地質、資源、地球物理、石油など 5 つの学会連合である。
- 地質学会同士でチャンネルがあるので MOU を結んで、交流を開始してみてもという提案である。
- 関係深いセクションと関係の深くないセクションがあるので、連合としてどうするかは、考慮する必要がある。
- 先方との議論は始めることは賛成だが、政治的な問題などがある。
セクション毎の MOU という選択肢も含め、次回以降、検討していく。

議題 8. グローバル戦略委員会の任務の刷新について

- 資料参照。時間がないため次回以降に持ち越すこととする。

報告事項

2.1. AGU Fall Meeting 参加報告（末広委員）

- AGU の工夫：分野ごとに名札ケースのストラップのカラーを変えていた。
- JpGU の宣伝は十分にできたのだったと思われる。
- 12/12 Great debates に関して、内容は良いのにも関わらず、聴衆が少なかった。今後の課題として、聴衆をどう増やすかということを考える必要がある。
- JpGU ブースはよい位置で見つけやすかった。
- ブースに立ち寄った人には、日本での研究生活に興味のある若手が少なからずいた。
- PEPS/JSPS コーナーも盛況であった。
- AGU 幹部との朝食会合において、データポリシーに関わる責任者との会合、プレプリントサーバーについての意見交換をおこなった。
- NASA, AOGS, EGU と個別に意見交換を行った。特にジョイントセッションのやり方に関する意見交換も行った。

- (安成委員) JSPS のブース担当者 (サンフランシスコ事務所の職員) が来られなかったために、日本での研究生活に興味がある海外の研究者 (若手含む) への詳細な情報伝達が不十分であった。例えば、日本に興味のある海外の研究者を受け入れられそうな分野の日本人研究者を照会ができるシステムの構築が行えればより興味や日本への誘致を促せる可能性がある。
- (大谷セクションプレジデント) 来年のワシントン DC 大会に向けて、ワシントン DC オフィスの担当者に連絡をとって、JSPS ブースでの十分な情報伝達を行うように促していきたい。

2.2. AGU FM2017 における Partner Union との交流報告 (末広委員)

- 2019 年 AGU100 周年。それに関わる協力依頼を Wallis 委員を通して行っている。
AGU では、その後の 100 年を視野に入れた perspective なイベントを行う意向。
- AGU は中国の IEECAS との合同で PM2.5 に関する会議を企画中である。
- AOGS との MOU 更新に関する意見交換も行った。
- ジョイントセッションの取り扱いについて話し合いをもった。
AOGS と EGU とのジョイントセッションを企画した。
AOGS のセッションの規定により、AOGS とのジョイントセッションとして認められたものが少なかった。
- ASEAN やインドの地球科学会との連携を視野に入れた RAC が形成された。日本からも委員として参加している。AOGS をアジアの地球科学ネットワークとしての位置付けているようであるが、具体的な議論の内容は不明である。今後の活動のために、注視する必要がある。
- EGU とのジョイントについて、日程が近いために同じような発表がある可能性があるが、EGU でも重要なテーマであると認識させる必要がある。来年のセッション提案に向けて、条件の周知が重要である。
- 4 月の EGU において、4 union 会合で EGU がホストで開催予定。JpGU からの意見があれば、連絡してほしい。
- (白井事務局員) EGU 用のリーフレットの紹介。
- (高橋委員長) EGU 側の条件は？
- (末広委員) EGU のトピックに合えば、大丈夫。
- (大谷セクションプレジデント) ジョイントの意味については？
- (末広委員) EGU に限らずどの学会連合に対しても、JpGU の特色を生かす必要がある。
その方策が必要。EGU はトピックが重要、AOGS は構成が重要である。
- (高橋委員長) EGU-AGU のジョイントセッションはあるけど？
EGU は AGU 以外とジョイントセッションをやったのか？
- (末広委員) AGU と以外は聞いたことはない。
- (末広委員) コンビナーに周知することが必要であり、草の根の方針は維持しつつ、セクションにも考える。
- (高橋委員長) セクションで意識するようにする必要がある。
- (高橋委員長) RAC の活動に注視するべきである。
- (末広委員) 内容については、ウェブしか見ていない。それぞれの国の窓口であるといっているらしい。

2-3. オープンサイエンス関連動向（村山委員）

- AGU ESSI の Executive Committee 会議の報告。資料参照。
- 「JpGU」のアクロニムが浸透していない。
- Mirroring の意味は、AGU/EGU/JpGU で同じ趣旨の（オープンサイエンスに関する）セッションを各々の学会で開催すること、と委員会が言っていた。
- （高橋委員長）具体的な内容は？
- （村山委員）オープンサイエンス・オープンデータ寄りの議論とビッグデータやデータサイエンス寄りの議論の2つがある。データについては研究の評価軸について、論文数だけでなく重要なデータの生成・整備も評価する方向性で AGU でも議論されている。
- （高橋委員長）連合の中のどこで扱えばいいのか？
- （村山委員）データ・情報の選任事項は情報システム委員会で議論するが、AGU・EGU との国際連携の話はグローバル戦略委員会でも共有・議論してもらいたい。
- （高橋委員長）グローバルでコンセンサスを取りながら、実際の活動や審議・決定は情報システム。
- （大谷委員）分野によって、データの評価が違っているので、個人の評価に反映するのは、ちょっと極端なのでは？地球化学データ分析をやっている研究者に伺う。時代に逆行しているのでは？データを取る研究者の評価のやり方を考える必要があるのでは？
- （村山委員）データを取る工夫などをすれば（科学研究に資するものがあれば）、評価するべきである。ルーチンでやっているものは、そうではない。分野ごとの考え方を議論するのが大事。
- （松本委員）PEPS でデータカテゴリを作ったので、JpGU としてデータ重視の方向性を感じ取って行動をしているが、まだ手探り状態である。
- （安成委員）分野ごとのデータ評価の制度を作るのに JpGU が主導的な役割を果たすべきでは（例えば、JpGU の各セッションごとに各分野ごとの評価の指標などを検討する）？
- （村山委員）プレプリントサーバーは AGU で起動している。仕掛け人が、5/23 に招待講演をする予定である。
- （白井事務局員）AGU からプレプリントの宣伝を行いたいと連絡が来ている。
- （木村前委員長）データのクオリティーコントロールが重要である。「サイエンスロンダリング」が起きる可能性が危惧される。学会でのクオリティーコントロールがした方がいい。国や大学・研究所でデータのアーカイブシステムの構築が必須であろう。
- （村山委員）EGU も対象。

2-4. AOGS-EGU Joint Conference 報告（松本委員）

- 自然災害に関する学会であり、異分野交流ができ、結果としていい会議であった。
- 各専門分野で別れてなく学際的な学会であった。
- 午後に break-out discussion が様々なテーマで round-table discussion 形式で行われ参加者の交流に貢献していた。
- 参加者の割合はアジア 8 割、ヨーロッパ 1.5 割、残りはアメリカ、日本などであった。
- アジアの割合は、フィリピン 3 割弱、中国・シンガポール約 1 割など。シンガポールや中国の大学・研究機関に所属する欧米研究者とその研究室の若手・院生の参加が多かった。日本のプレゼンスは

Publication 関係で PEPS について、会場で依頼されて予定外の紹介ができたものの、時期的な問題もあってか参加者が少なく、やや弱い印象。

- 地滑り、大雨、地震・津波の発表が多かった。気象分野では台湾中央気象局長が発表していた。
- 実験的な開催であったが、閉会式での主催者側からの口頭での問いかけに対しては、「また、来たい」などのポジティブな回答が多かった。
- （大谷委員）ハワイの AOGS は単独か？
- （松本委員）単独である。それを維持する方針。Joint でやるのは、年 1 回の会議の他で、相手と合意が取れた場合のみ。今回はその初めての試み。
- JpGU の投稿数が今年やや少なかった理由には、AOGS Hawaii の影響も考えられる。
- フィリピンでは、地質学、火山学、気象学関係等の学会はあるものの、学会ユニオンはない。
- EGU では自然災害系セッションが急速に増えている。

2-5. JpGU2018 の国際対応準備（高橋委員長）

- JpGU2018 における学会ブースについての紹介。
- ブースをグローバル委員会で対応するので、各委員に担当をお願いしたい。
- 他国の学会とのリンクを作る拠点にしたい。
- 提案などあれば、高橋委員長まで連絡をしてもらいたい。

2-6. ジョイントセッションに関する報告（末広委員）

- 中間報告を行った。プログラム委員会の方で正式決定次第報告する。

2-7. 新入委員について（高橋委員長）

- 委員長から新入委員の紹介を行った。
- 数人程度を若手・中堅から推薦したい。推薦は事務局または高橋委員長まで連絡してほしい。

2-8 学術会議からの報告（春山委員）

- 学術会議地球惑星科学委員会におけるグローバル戦略委員会に関連する分科会の紹介。
- 国際連携分科会・小委員会の構成再編が行われている。
- 国際学会への拠出金の削減が行われている。
- AGU、EGU、AOGS、Goldschmidt への対応を JpGU として考える。
- ロードマップへの対応が必要である。

18 : 30 閉会